

# 一般社団法人ファイバーシート天井システム協会の設立

太啓建設株式会社

<http://www.taikei-con.co.jp/index.html>

## 1. はじめに

日本は地震大国であり、近年は阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本大震災により甚大な被害をこうむった。近い将来予想される首都直下型地震、南海トラフ巨大地震の30年以内発生確率は70%とされている。このような中、高度成長期以降に集中整備したインフラの老朽化への対策、そして建築物の安全対策は喫緊の課題となっている。特に建築物の天井の安全性については大型地震の都度、落下等の深刻な被害が報告され、社会的な関心が高まっているが、その対策に関しては技術的な制約の観点から進んでいるとはいいがたい状況である。

また、急速に進む人口減少、少子高齢化による労働力の不足が建設産業においても課題となっている。特に地方部による人口の減少は著しく深刻な問題であり、建設現場における施工の省力化や工期短縮に現在大きな関心が集まっている。このため、上記のような様々な課題の解消に向けて、ファイバーシート天井システムが開発された。

## 2. ファイバーシート天井システム

ファイバーシート天井システムは、岡山県津山市の「つやま産業支援センター」が主体となり、専門技術を持つ企業や、研究機関、建築設計士など官・民・有識者が一体となり開発を続けてきた技術で、丈夫なグラスファイバー製シート（表面をフッ素加工処理した不燃認定材）に専用のストロングテンション金具（壁面四方に0.7m~1m間隔で固定）を壁に取り付け、両端から張力を掛けることで水平な天井をつくる、全く新しい天井システムである。



勝北中学校

本システムは、軽量柔軟で安全性が高い為、天井崩落による被害を未然に防ぐ耐震対策用天井として用いることができ、施工も容易である為、少人数かつ短期間で既存の天井を置き換えることでトータルコストの削減が可能である。将来の社会資本の安全性と生産性向上に必要な技術であることを確信する。また、質感・カラーバリエーションなどの意匠性に優れる為、建築物のインテリアとして空間演出も可能である。



## 3. (一社) ファイバーシート天井システム協会

岡山県津山地域には、長い歴史と高い技術を持つ企業群がある。ファイバーシート天井システムをさらに効果的、且つ効率的な技術にすることを目的とし、ものづくりのまち岡山県津山市を基盤とする(株)マクラライフ、つやま産業支援センター、(株)アイダメカシステムと、同じものづくりのまち愛知県豊田市にある太啓建設(株)が提携し、平成29年3月7日「一般社団法人ファイバーシート天井システム協会」を設立した。



## 4. 今後の展望

本協会設立により、団体の法律上の位置づけと責任の所在が明確化され、社会的地位や信用力の向上が期待されるのみならず、他の団体との活動や連携を通し、国の施策でもある人的・経済的被害の軽減による強靱な国づくりや、「改正耐震改修促進法」円滑な運用に貢献するなど、各方面からの要請や期待に応えることが可能となる。まずは東海地区、岡山地区での知名度アップ及び普及に努め、更には全国展開を目指す。